

【目標1】自転車にやさしい都市環境の形成

安全で快適な自転車利用環境の計画的な創出や公共交通との連携の強化

実施すべき施策 ①歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された自転車通行空間の計画的な整備と保全

■ 区画線の引き直し、道路標識の更新

・県内各地で、視認性が低下した区画線の引き直し、老朽化した道路標識の更新を実施(R1、R2)

■ 「ゾーン30」の整備

・区域内の最高速度を時速30kmに制限することなどにより、歩行者や自転車等の安全の確保

【実施区間】滑川市上梅沢地内(新規整備)・黒部市田家地内(区域増加整備)(R1)

砺波市五郎丸地内(新規整備)(R2)

■ 駐輪場情報のオープンデータ化の推進

・地図情報サイトや経路検索サイトへ駐輪場情報を提供することにより、スマートフォンから、現在位置の周辺の駐輪場の検索や

現在地からの距離、目的地周辺の駐輪場を検索可能とする。(R1)

今後、適宜情報を更新

■ 道路改良等による自転車通行空間の安全性・快適性の改善

・富山県自転車活用推進条例の施行、富山県自転車活用推進計画の策定、道路構造令の改正等を踏まえ、今後の自転車通行空間の整備方針を検討(R1、R2)



「ゾーン30」の標識と路面表示

実施すべき施策 ②シェアサイクルやレンタサイクルと公共交通機関との接続強化、自転車の貸出し・返却用ステーションの設置促進等によるシェアサイクル・レンタサイクルの普及促進

■ 市町村等が行う関連施設の設置に対する支援

・県内各地において、自転車シェアリング事業の貸出拠点(ステーション)の整備やレンタサイクル事業に対し、情報提供や補助金を交付

施設整備への補助1件(R2予定)

【指標】自転車の貸出し・返却用ステーションの設置数(企調)
74箇所(2019年度末)(約600台)⇒ 目標 80箇所(2026年度)

実施すべき施策 ③鉄道事業者等との連携強化による、地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備推進

■ パークアンドライド推進に関する補助

・市町村又は交通事業者等が実施するパークアンドライドのための駐輪場整備や普及啓発に対し補助金を交付

駅に併設する駐輪場: 増設2駅(富山地方鉄道: 東新庄駅、越中荏原駅) (R1)

その他: 駅駐輪場の案内看板へ補助(万葉線: 能町口駅、庄川口駅、西新湊駅、新町口駅、中新湊駅、片原町駅、米島口駅、六渡寺駅) (R1)

【指標】駐輪場等のある駅・バス停の数(総交)
124(2019年度末) ⇒ 目標 130以上(2026年度)

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標2】自転車を活かした健康づくりの推進

健康寿命の延伸を目指し、多くの県民がサイクルスポーツを楽しめる機会を創出

実施すべき施策 ①公道や公園等の活用による安全に自動車に乗ることができる環境の創出

■ 県民公園太閤山ランドにおける公園内レンタサイクルの実施

広い園内を自転車で快適に楽しんでもらうため、レンタルサービスを実施

- ・貸出期間 : (R1)平成31年3月23日～令和元年12月1日
(R2)令和2年3月20日～令和2年11月30日(4/28～5/19 利用中止)
- ・自転車種類: 電動アシストサイクル、タンDEMサイクル、スポーツサイクル、シティサイクル、子ども用サイクル
- ・自転車台数: 約180台
- ・貸出実績 : (R1) 15,252台
(R2) 11,969台



太閤山ランド内のサイクリングセンター

実施すべき施策 ②幅広い年齢層におけるサイクルスポーツの振興による健康づくりの推進

■ 富山県スポーツフェスタの開催

子どもから高齢者、アスリートからスポーツ・レクリエーション愛好者までの幅広い層を対象にスポーツへの関心を高め、スポーツ人口の拡大、運動習慣の定着化を図るため総合的なスポーツ大会を開催

○ 県民体育大会「自転車競技(各種タイムトライアル)」

開催日: 令和元年7月14日

場所: 富山競輪場

参加者数: 63人

○ 県民スポーツ・レクリエーション祭「サイクリング」

開催日: 令和元年6月2日

場所: 県西部体育センター～道の駅福光

参加者数: 44人



県民スポーツ・レクリエーション祭「サイクリング」

※R2年度は、県民体育大会の自転車競技及び県民スポーツ・レクリエーション祭のサイクリングは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標2】自転車を活かした健康づくりの推進

健康寿命の延伸を目指し、多くの県民がサイクルスポーツを楽しめる機会を創出

実施すべき施策 ③自転車を利用した健康づくりに関する広報啓発の推進

■「サイクルフェスタとやま」の開催

自転車に乗る楽しみやメリットを知ってもらうとともに、自転車を活かした健康づくりを推進するため、自転車をテーマにした「サイクルフェスタとやま」を開催

〔サイクルフェスタとやま2019〕

- ・開催日 : 令和元年9月7日(土)
- ・場所 : 太閤山ランド
- ・参加者数 : 延べ約1,000人
- ・イベント内容: 健康づくりサイクリングや自転車乗り方教室、ランニングバイクの模擬レース、BMXショー、自転車シミュレーター体験、自転車に親しむトークショー 等

〔サイクルフェスタとやま2020〕

- ・開催日 : 令和2年9月6日(日)
- ・場所 : 太閤山ランド
- ・参加者数 : 延べ約900人
- ・イベント内容: 健康づくりサイクリングやランニングバイク体験、パンptrack体験、BMXショー、自転車シミュレーター体験、交通安全教室、自転車に親しむトークショー 等



健康づくりサイクリング



BMXショー



ランニングバイク体験



パンptrack体験



自転車に親しむトークショー
水越 ユカ氏



自転車に親しむトークショー
山田 拓氏

【指標】健康づくりのため自転車を利用する県民の割合(企調)
27.4%(2019年) ⇒ 目標 30%(2026年度)

(令和元年度県政世論調査)

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標3】サイクルツーリズムの推進

サイクリングコースを活用したイベント・ツアーの充実等により魅力ある観光地域づくりを推進

実施すべき施策 ①「富山湾岸サイクリング」などのサイクリングイベントのブラッシュアップ・国内外へのPR強化

■「富山湾岸サイクリング2019」の開催

県内外の参加者に美しい景観や食など富山湾の魅力をアピールするため、5回目となる「富山湾岸サイクリング2019」を開催

- ・開催日：2019年4月14日
- ・参加人数：1,445人（180km 354人、120km 553人、80km 435人、ファミリー（45km）103人）

※R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

■台湾著名サイクリスト、メディアの招へい、サイクリングツアーの誘致

「富山湾岸サイクリング2019」の開催に合わせて、台湾の著名サイクリストや自転車専門メディアを招へい

- ・自転車新文化基金会の劉麗珠（りゅう れいじゅ）会長、ジャイアント・グローバル・グループのボニー・ツアー会長ら39名を誘致
- ・台湾メディアでツアーの様子を紹介

※R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

■世界No.1の訪日観光客向けサイト「ジャパンガイド」を活用した県内サイクリングコースの情報発信

- ・県内のサイクリングコースや沿線の観光スポットなどを、外国人観光客目線で5ルートを紹介（R1）
 - 富山湾岸サイクリングコース：ヒスイ海岸や海王丸パーク、道の駅雨晴、岩瀬など、
 - 田園サイクリングコース：大岩山日石寺や眼目山立山寺（がんもくざんりゅうせんじ）、八尾など

■サイクリングモニターツアーの実施

県外のサイクリストブロッガーを対象としたサイクリングツアーを実施し、県内のサイクリングコースの魅力を体験・PRし、サイクリストを誘客

- ・富山湾岸・田園サイクリングコースや沿岸の観光スポットなどを走行（R1）
- ・富山地方鉄道のサイクルトレインを活用したコースを走行するほか、サイクリングツアー参加者がパーソナリティを務めるラジオ番組「サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン」で富山県のサイクリングの特集を放送（R2）



富山湾岸サイクリング2019



台湾から著名サイクリストとメディアの招へい

Five cycling routes in Toyama

Discovering traditional towns and scenic views by bicycle in Toyama Prefecture



ジャパンガイド



サイクリングモニターツアー（R1）



サイクリングモニターツアー（R2）

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標3】サイクルツーリズムの推進

サイクリングコースを活用したイベント・ツアーの充実等により魅力ある観光地域づくりを推進

実施すべき施策 ②「富山湾岸サイクリングコース」や「田園サイクリングコース」等における受入環境や走行環境のさらなる整備充実、コース周辺の魅力のブラッシュアップと県内外に向けたコースの 魅力の発信

■サイクリングコースの整備

<富山湾岸サイクリングコース>

入善海岸の新コース整備(約10km)、宮崎海岸の自転車専用道路の測量設計(約1km)(R1)

宮崎海岸の自転車専用道路の整備(約1km)(R2)

入善海岸の自転車専用道路整備の調査(約3km)(R2)

<田園サイクリングコース>

県東部への延伸整備(約71km⇒約132km)(R1)

県西部への延伸整備(約132km⇒約199km)(R2整備中)

<コース延長>(R2末時点)

富山湾岸サイクリング 約102km

田園サイクリングコース 約71km⇒約132km⇒約199km

湾岸・田園連絡コース 約18km

■とやまサイクリングMAPの改定

・サイクリスト、国内外の旅行者、県民によるサイクリングコースの利用促進に向け、既存のマップを改定(R1)

インバウンドに対応したサイクリングマップを作成し、サイクルステーション、サイクルカフェ等に配布

(日本語7,000部、英語6,000部、中国語(繁体語)600部)

・携帯しやすいサイズで水濡れに強く、サイクリストが活用しやすいマップに改定(R2作成中)

(日本語3,000部、英語500部、中国語(繁体語)500部)

■とやまサイクルNavi(仮称)の構築(R2整備中)

・県内サイクリングルートや沿線の観光情報等を紹介するWEBサイト(日本語・英語版)を作成

Google mapを活用して、WEBサイトに湾岸サイクリングコースや田園サイクリングコースのルートを表示させ、

気軽にルートの閲覧が可能



とやまサイクリングMAP

■サイクルトレインの実施

サイクルトレイン:あいの風とやま鉄道

・サイクルトレインの定期運行(R3.4.17~)

・サイクルトレインイベントの開催 令和元年9月21日 令和2年9月27日

富山地方鉄道(土日祝、年末年始)

サイクル ترام:万葉線(令和2年4月1日~11月30日)

【指標】富山湾岸、田園、湾岸・田園連絡サイクリングコースの整備延長(道路)
252km(2019) ※目標250km(2026)達成

【指標】富山湾岸サイクリングコースのレンタルサイクル利用者数【観振】
3,284人(2019) ⇒ 目標8,000人(2026)

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標3】 サイクルツーリズムの推進

サイクリングコースを活用したイベント・ツアーの充実等により魅力ある観光地域づくりを推進

実施すべき施策 ③「富山湾岸サイクリングコース」を本県における先進的なサイクリング環境の整備を目指すモデルルートとして位置づけ、我が国を代表するナショナルサイクルートの指定を目指した取組みの推進

■ サイクリングコースの整備(再掲)

富山湾岸サイクリングコースの海岸沿いへのコース整備、田園サイクリングコースの延伸等

■ とやまサイクリングMAPの改定(再掲)

■ ジャパンガイドを活用した県内サイクリングコースの情報発信(再掲)

■ とやまサイクルNavi(仮称)の構築(再掲)

■ サイクリングモニターツアーの実施(再掲)



富山湾岸サイクリングコース



とやまサイクリングMAP



ジャパンガイド



モニターツアー



富山湾岸サイクリングコース

実施すべき施策 ④地域における自転車の観光活用の取組みの促進

■ 市町村やNPO等が実施する自転車活用推進事業への支援

自転車の活用推進を図るため、富山県自転車活用推進計画に記載された施策の推進に関連する事業について補助

【補助事業実績】

(R1)

- ・富山あいのかぜジェントルライド2019(令和元年8月24、25日)
内容:富山湾岸サイクリングコースを活用したサイクリングイベントの開催
- ・ぐるっと!にいかわサイクリング(令和元年10月13日~11月10日)
内容:新川地域のサイクリングコースの6コースを活用したアプリによるスタンプラリーの実施
- ・とやまサイクルセーフティ推進リーダー認定会(令和元年9月7日)
内容:サイクリングイベントのコースリーダー等を対象とした交通マナーやテクニックの講習会の開催
- ・南砺サイクリング祭「隅から隅までずずいーっとエンカルライド」(令和元年10月27日)
内容:城端別院善徳寺を中心とした南砺市を一周する100km超のロングライドイベント

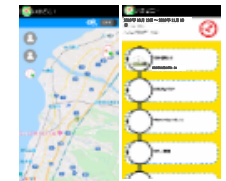
(R2)

- ・サーキット場で走ってみよう!親子自転車教室(令和2年10月31日)
内容:一本橋や自転車相撲など親子で楽しく学べる自転車教室の開催

※R2年度は、新型コロナ感染拡大のため、補助を予定していたサイクリングイベントが中止



あいのかぜジェントルライド



スタンプラリーアプリ



とやまサイクルセーフティ推進リーダー認定会



南砺サイクリング祭

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標4】安全で安心な自転車社会の実現

自転車に関する交通ルールの周知や安全教育の推進により自転車事故を削減

実施すべき施策 ①安全な自転車の利用や点検整備を促進するための広報啓発の推進

■ 自転車活用推進パンフレットの作成

・自転車の活用推進、自転車の安全利用及び点検整備、自転車保険の加入等を促進するため、自転車活用推進パンフレットを作成(R1、R2)

○主な配布先：サイクルステーション、カフェ、自転車関係者、
県内大学・高校、駅 など

自転車活用推進パンフレット



実施すべき施策 ②県民の交通安全意識の向上に資する広報啓発の推進や自転車利用者に対する指導・取締りの実施

■ 各季の交通安全運動における啓発

(R1)

春：「自転車の安全利用の推進」を重点項目とし、「とやま自転車5ハット！」を交通安全の富山県推進要綱(以下、「要綱」)に掲載

夏：自転車運転者講習の対象となる危険行為、「自転車安全利用5則」を要綱に掲載

秋：「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」を重点項目として要綱に掲載

年末：自転車利用者に対する「ながら運転」の禁止を要綱に記載

(R2)

春：「自転車の安全利用の推進」を重点項目とし、自転車運転者講習制度を要綱に掲載

夏：「自転車の安全利用の推進」を重点項目とし、交通ルール・マナーの周知徹底等を要綱に掲載

秋 子供を始めとした自転車の安全利用の促進等を要綱に掲載

年末：「自転車安全利用5則」「とやま自転車5ハット！」の周知徹底を要綱に記載

■ 交通安全子供自転車大会、高齢者自転車大会の開催

・小学生や高齢者が、自転車競技を通じて、自転車の安全走行に関する知識・技能が身につけてもらうため、県交通公園自転車練習コースにおいて、開催

子ども自転車大会：令和元年7月7日 16チーム 64人参加

高齢者自転車大会：令和元年10月10日 18チーム 52人参加

※R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

■ サイクル安全リーダーによる交通安全呼びかけ活動

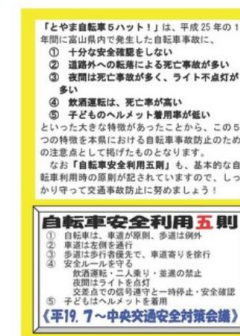
・県内の中・高校生をサイクル安全リーダーとして委嘱し、自転車事故の防止と交通マナーの向上のため、学校周辺道路において交通安全呼びかけ活動を実施

<サイクル安全リーダー> (R1)中学生：625名(54校) 高校生：793名(45校)

(R2)中学生：699名(53校) 高校生：721名(42校)



とやま自転車5ハット



子供自転車大会



高齢者自転車大会

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標4】安全で安心な自転車社会の実現

自転車に関する交通ルールの周知や安全教育の推進により自転車事故を削減

実施すべき施策 ② 県民の交通安全意識の向上に資する広報啓発の推進や自転車利用者に対する指導・取締りの実施

■ 自転車マナーアップ事業

・全ての中・高校生や自転車購入者に対して、自転車マナー向上や「ながら運転」の禁止、保険加入を呼びかけるカードを配布(R1)

■ 高齢歩行者等交通安全教室の開催

・加齢に伴う身体機能の変化を自覚してもらい、交通法令の遵守と正しい交通マナーの実践を促進させるため、横断体験や自転車等を活用した参加・体験・実践型の交通安全教室を4市町で開催(R1)

(氷見市、黒部市、小矢部市、上市町)

■ 交通安全アドバイザー研修会における啓発

・知事から委嘱を受けた「交通安全アドバイザー」に対する研修会の開催(R1、R2)

高齢者に対して、自転車利用を含交通死亡事故について事例をあげ、指導上の注意点を示すとともに、注意喚起を促す

(R1) 令和元年4月15日：300名、4月17日：230名、4月18日：250名

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、研修会を開催せず資料配布で対応

■ 指導警告票、自転車安全指導カードの交付

・学校・駅・スーパー周辺等において、中・高校生や高齢者等の自転車運転者を対象とし、危険な交通行動者に対し、指導警告を実施(R1,R2)



自転車マナーアップお守りカード

【指標】自転車事故の発生件数(防危)
250件(2019) ※目標290件以下(2026)

富山県自転車活用推進計画に基づく施策の実施状況について

【目標4】安全で安心な自転車社会の実現

自転車に関する交通ルールの周知や安全教育の推進により自転車事故を削減

実施すべき施策 ③学校における交通安全教室の開催等の推進

■自転車交通安全教室修了証の交付(小学生)

- ・県下小学校の小学4年生に対して、自転車交通安全教室を開催
交通安全講話(自転車に関するルールやマナー)
実技指導(自転車実技コースにおいて、走行状況の確認)
修了証の交付(子供自転車安全ハンドブック)
- R1:8,426名 R2:8,046名



自転車交通安全教室

■サイクルフェスタとやまの開催(再掲)

- ・サイクルフェスタとやまにおいて、自転車シミュレーターの体験ブースを設置し、交通ルールを実施した。(R1、R2)
- ・R2年度は、交通企画課の協力により、自転車交通安全教室を開催



自転車シミュレーター
(サイクルフェスタ)

■保護者に対する交通安全啓発

- ・小学校、中学校、県立高校、特別支援学校に入学する児童生徒の保護者に対し、入学説明会や保護者会等において、自転車乗車時のヘルメット着用や交通ルール遵守等を啓発(R1、R2)
- ・コロナ禍による休業中、富山県警察HP掲載の「交通安全教育動画」の視聴を啓発(R2)

■各学校における交通安全教室の実施

小学校、中学校、県立高校、特別支援学校において、交通安全教室を開催(R1、R2)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交通安全教室の実施が難しい場合には、学校での指導や登下校時の指導など、繰り返し交通安全指導の徹底を図る(R2)



自転車交通安全教室
(サイクルフェスタ)

■小・中学校生徒指導研修会の開催

東西両教育事務所が主体となり、交通安全を含んだ小・中学校生徒指導研修会を開催(全学校を対象)
令和元年4月実施、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

■交通安全に関する学警連絡会議

学警連絡会議において、児童生徒の交通事故防止、特に自転車等の事故を防止するため、交通安全指導の充実と交通道德の育成を協議

(R1、R2 年4回)

【指標】交通安全について指導している学校の割合(保体)

99.4%(2019)⇒ 目標100%(2025)